

社会資本整備審議会 道路分科会

第23回近畿地方小委員会

議事概要

1. 日 時 平成30年12月26日(水) 10:00~12:10
2. 場 所 近畿地方整備局 新館 3階 A会議室
3. 出席者

[委員]

うの 宇野	のぶひろ 伸宏	京都大学大学院工学研究科 教授
うらお 浦尾	こ たか子	京南倉庫株式会社 常務取締役
たまおか 玉岡	かおる	作家/大阪芸術大学大学院 教授/兵庫県教育委員
むねた 宗田	よしふみ 好史	京都府立大学 副学長・和食文化研究センター長・ 生命環境学部 教授
やました ◎山下	あつし 淳	関西学院大学法学部 教授

※敬称略、五十音順 ◎は委員長

4. 議 事

(1) 計画段階評価について

- 重要物流道路制度を契機とした新たな広域道路交通計画について
- 新広域道路交通計画について

(2) 議事概要

<委員からの主な意見>

■新広域道路交通計画について

- ・物流や地域の変化に対応する必要がある。
- ・国土計画、地方計画、自治体の計画へどうフィードバックしていくかが重要。
- ・近畿の目指すべき姿をしっかりと整理する必要がある。
- ・課題としては、渋滞のみならず、事故対策・交通安全向上も注目されるべき。
- ・パークアンドライド等の都市部への流入抑制、IC付近の駐車場整備なども考えてはどうか。
- ・高速道路を下りてからの道路を体系的に整理し、地方道でも生活道路と物流アクセス道路等の役割分担を整理する必要がある。
- ・経済を支える「商流」としての物流の視点を取り入れるべき。
- ・地方ブロックを越える人・物の流れを踏まえたネットワークを考える必要がある。圏域内だけではなく、圏域外の地域も考えるべき。
- ・道路、港湾、鉄道をどう組み合わせるかという視点があっても良いのではないか。
- ・観光拠点も物流と関係が深いため、物流としての機能も入れて欲しい。
- ・物流拠点は臨海部から内陸部に移っているため、港等から物流拠点へのルートは重要。